



泉佐野市青少年指導員連絡協議会について

本市の青少年指導員会は、青少年の非行防止と健全育成を図ることを目的として、昭和38年に発足しました。

青少年指導員は中学校区単位で選出され、適任者を各町会長が推薦し、市長が委嘱するという形態をとっています。任期は2年となっています。現在は、180人以上が活動し、中には10年以上上されている人もいます。また、日ごろの活動も各中学校区を基本にしています。そのため、各校区の事務局は中学校の生徒指導主任が担当し、毎月のご定例会もそれぞれの中学校で行われています。

市全体としては、「青少年指導員連絡協議会」が組織され、定例会では各校区の活動状況の交換や、全体行事の企画・運営・実施を行っています。連絡協議会の事務局は、市役所の学校教育課にあります。活動は各中学校の事務局との連携を図りながら行っています。

また、泉南ブロック青少年指導員連絡協議会や大阪府青少年指導員連絡協議会が組織されており、それらとの連携も図っています。

【青少年指導員の主な活動】

●非行防止活動
地域でのお祭りや盆踊りなどで

の補導活動(各校区)

・休業期間(夏休みなど)の校区パトロール(各校区)

・郷土芸能の集いでの補導活動(市全体)など

●健全育成活動

・町別の球技大会(各校区)

・ワクワクふれあいハイキング(市全体)

・社会環境実態調査(市全体・青少年環境整備啓発推進員)など

その他にも、街頭での啓発運動や泉州国際市民マラソンへの協力、市長との意見交換会、研修会への参加など様々な活動を行っています。市長との意見交換会では青少年の健全育成について、直接市長と話をすること、より連携を深めています。今年度の管外研修では「薬物依存症」とりあげ、依存症の実態や回復プログラムなどについて学びました。

青少年指導員の様々な活動は、子どもたちの健やかな成長を目指して、地域・学校・行政などの協力・連携体制のもとに行われています。今後の活動の活発化のためにも、これまで以上の協力・連携が重要になっていきます。これからもご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



学校園紹介



子どもの笑顔があふれる楽しい学校
～末広小学校～

末広小学校では、「子どもたちに、『生きる力』を育む」「学び続け、変革しようとする意欲を育成する」「他人に優しく、助け合う集団を育てる」の3つの目標を柱に、「子どもの笑顔があふれる楽しい学校」＝「すえひろ笑楽校」を目指して、教育活動に取り組んでいます。児童数は428人です。学級数は、1・2・4・5年生が2学級、3・6年生が3学級、支援学級が6学級で合計20学級です。

特色ある教育活動として、下記の取組を行っています。

●問題解決的な学習の実施や、授業に対する姿勢を醸成する「学びをつくる5つのとびら」の設定、家庭学習推進週間の設置、異学年での学び合い活動などで、子ども主体の授業づくりを進めています。

●火・木・金曜日に15分間の英語学習を全学年で行い、外国の言語や文化についての理解を深め、対話力の強化を図っています。



●児童会活動の一環としてファミリー活動という異学年交流を行い、社会性の基礎を育み、人と関わる喜びを獲得する活動を、児童が主体的に企画しています。

●「セカンドステップ」学習を通じて、相手の気持ちを理解し、自分を律し、円滑な人間関係を結べる資質を育てています。

●「校内音楽会」や「地域の方々との交流会」などの行事で、友だちと協力する意識や他人を思いやる気持ち、発信しようとする姿勢を学んでいます。



●ボランティアによるお話の会や茶道体験で、情操を高めています。大学生のインターンシップ受け入れや、算数サポートの配置など、外部人材の活用にも力を入れています。

スポーツ交流宿泊研修を終えて
～佐野台小学校～

佐野台小学校5年生全員が、東京都世田谷区にある日本体育大学でスポーツ交流宿泊研修を体験しました。当日は、オリンピックで銅メダル(ロサンゼルス)・銀メダル(アテネ)をとられたアーチェリー選手の山本 博さんによるすばらしいお話や、体づくりのために欠かせない栄養学の授業を受けました。



広い校内を見学中に、クラブチームでダブルダッチの練習をしていた大学生のみなさんにダブルダッチの実演を見せていただいたり、一緒に練習させてもらったりしました。あたたかい気持ちにもなるとともに、スポーツをするだけでなく、日ごろからのマナーの大切さも勉強することができ、本当に意義深い宿泊研修になりました。



東京タワーや国会議事堂の見学もでき、お土産も上手に計算しながら購入し、楽しい思い出がたくさんできました。

泉佐野市を代表して参加した体験を今後も生かしていきたいと思っています。

